

## 東海市の姉妹都市



# ブルサ市ニルフェル区(トルコ共和国)



## NİLÜFER BELEDİYESİ

● 提携年月日 平成 19年5月10日



### ・ニルフェル区の概要

ブルサ市は、イスタンブールから南へ直線距離で 100 kmのトルコ北西部の都市で、オスマントルコ帝国時代の最初の首都です。

ニルフェル区はブルサ市の中でも西側にあり、標高 2,443mのウル山のふもとに広がる地区です。区制が始まったのは、昭和 62 年と比較的若い区で、毎年 10%を超える人口が増加している新興住宅地でもあります。

「緑の街・ブルサ」の中でもニルフェル区は特に緑が豊かで、ブルサ市随一の高級住宅地があり、また、約 4 万人の学生が通う国立ウルダー大学も所在しています。4 つの工業団地では自動車製造業、繊維業が盛んですが、他にもオスマントルコ帝国時代の風景を残すミスィ村も存在するなど、工業、文化、自然、歴史など魅力あふれるまちとなっています。

◎面積：約 500 km<sup>2</sup>

◎人口：約 42 万 4 千人

また、日本庭園や、トルコ総合楽器博物館に展示されている和楽器が、東海市との友好の象徴となっています。

● 提携までの経緯

### ● 提携までの経緯

平成 15 年 9 月、トルコ共和国が愛知万博一市町村一フレンドシップ相手国に決定。万博期間中は、東海市国際交流協会が中心となり、パビリオンスタッフを交えての京都バスハイク、フレンドシップ記録映画トルコ人監督のホームステイ、トルコ民族舞踊団東海市公演、トルコ共和国ナショナルデーの市民応援など様々な交流事業を行いました。

平成 18 年 1 月には、フラワーショーにソルマズ・ウナイドゥン駐日トルコ共和国大使を招き、トルコタイル贈呈式・洋ラン命名式を行いました。同年 7 月、姉妹都市提携先調査団を派遣、その結果ブルサ市ニルフェル区を選定しました。

10 月には東海市議会会派代表がニルフェル区を視察。平成 19 年 1 月、ニルフェル区長、ウル山トルコ日本文化協会長始め 8 名が東海市を来訪し、姉妹都市の提携が確認され、同年 5 月 10 日にブルサ市で姉妹都市提携の調印式が行われました。

